

平成 22 年度の町の決算です。 町が行っている事業は、

皆さんが納めた税金や、

国・県からの補助金などでまかなわれています。

決算は、このお金が皆さんの暮らしやまちづくりの中で、 どのようにいかされてきたかをまとめたものです。

では、町の家計簿のあらましを見てみましょう。





一般会計 **II**フス

68億9,819万円

INCOME

・繰入金…761 万円(0.1%)

・そのほか (財産収入・分担金及び負担金 | 繰越金等) …3億8,744万円 (5.6%) ・そのほか(地方譲与税・地方消費税交付 金等)・・・3 億 3,230 万円(4.8%)

•県支出金…4億5,985万円(6.7%)

町税

17 億 2,224 万円 ^(25.0%) 地方交付税

24 億 1,940 万円 (35.1%)

町債 ^{7億8,744万円} (11.4%)

自主財源…22 億 8,626 万円(33.1%)

依存財源…46億1,193万円(66.9%)

·国庫支出金…6億1,294万円(8.9%)

·使用料、手数料···1 億 6,897 万円 (2.4%)

※数字は四捨五入しているため、必ずしも合計と一致するとは限りません。

住民サービスの向上と新たなニーズに迅速かつ的確に対応できるよう、財源の確保に努め財政の健全化を図っています。

一般会計の収入総額は、68億9,819万円です。収入は、自主財源と依存財源に分けることができます。

自主財源は、町税や繰入金、使用料・手数料、繰越金、財産収入など、町が独自に収入した財源で、平成22年度は22億8,626万円。そのうち町税は17億2,224万円で、収入全体の25.0パーセントを占めています。

依存財源は、地方交付税や国・県からの交付金、町債などで今年度は収入全体の66.9 パーセントを占めています。このうち収入全体の35.1 パーセントを占める地方交付税(全国各市町村の財政力のバランスを取るために国から配分されるお金)は24億1,940万円、国からの支出金は6億1,294万円、町債(道路や公園、学校など町が行う建設事業などの資金を調達するために国などから借り入れるお金)は7億8,744万円、県支出金は4億5,985万円となっており、依存財源による収入は46億1.193万円となっています。

と資金不足比率

鞍手町の財政健全化判断比率は次のとおりです。いずれも早期健全化基準、財政再生基準を下回っています。しかし今後も本町の財政状況は厳しい状況が続く見込みです。このため第4次総合計画(後期)を基本とした行財政改革を推進し、財政体質の健全化を図りる、創造性・自立性を高め、限られた財源の重点配分と経費支出の効率化を図っていきます。

平成 22 年度 財政健全化判断比率

単位:%

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
鞍手町の比率	_	_	11.9	_
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.0	基準なし

※(-)表示は黒字

- ・実質赤字比率…普通会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率
- ・連結実質赤字比率…すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率
- ・実質公債費比率…起債の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率
- ・将来負担比率…町が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率

まちづくりの基本となる第4次総合計画(後期)に基づき、 限りある財源の効率的な運用に努めました。

平成22年度はどんな仕事にお金を使ったのでしょうか。一般会計の支出総額は、68億1,701万円です。 町民1人当たり38万4.750円が使われたことになります。

支出は、使われるお金の目的によって総務費や民生費、土木費など14の項目に分けられています。こ のうち最も大きな割合を占めているのが民生費で介護保険広域連合への負担金として2億3817万円、重 度心身障害者や乳幼児、ひとり親家庭などの医療費補助に1億602万円の支出となり、平成22年度は支 出全体の3割の額を占めています。衛生費では、ごみやし尿の処理に4億3,398万円を、土木費では、下 水道事業の補助に2億7.808万円を使いました。





68億1,701万円

·農林水産業費···8,274 万円 (1.2%)

·消防費…3億4,027万円(5.0%)

22 億 1,449 万円 (32.5%)

総務費

14 億 8,114 万円 (21.7%)

衛生費

8億2,716万円 (12.1%)

公債費 教育費

7億2,976 万円 (10.7%)

5億2.915万円 (7.8%)

(6.5%)

・議会費…8,744 万円 (1.3%)

項目別支出内訳

・そのほか (1.2%) (・労働費…3,595 万円 ・商工費…4,142 万円・災害復旧費…260 万円)

民生費

- ●介護保険広域連合負担金に(2億3,817 万円) ●障害者の自立支援費に(2億9,590 万円) ●重度心身障害者や乳幼児、ひとり 親家庭などの医療費対策に(1億602万円)
- ●子ども手当等に(2億5,441万円)●老 人保護措置の委託に(4,546 万円)●社会 福祉協議会への補助金(3.617万円)

総務費

●交诵安全施設の整備に(446万円)●鞍 手駅関連施設の管理に(614万円)

衛生費

- ●ごみやし尿の処理に(4億2,443万円)
- ●町立病院事業へ(2億3,121万円)●予

防接種の業務委託に(2.385 万円)●母子 保健対策に(1,335万円)●合併浄化槽の 設置補助に(953万円)

教育費

●外国青年招致事業に(511万円)●6小 学校及び2中学校図書整備事業に(500万 円) ●2中学校耐震補強工事に(1億963 万円)

土木費

- ●下水道事業の補助に(2億7,809万円)
- ●道路や橋の新設、整備に(4,364万円)
- ●水路や河川の整備に(2.367万円)●町 営住宅の維持管理に(4,176万円)

消防費

●直鞍広域消防の負担金に(2億7,103万 円) ●防火水槽の新設に(431万円)

農林水産業費

●計画転作の推進に(1,779万円)●農地・ 水・環境保全工場活動支援事業に(266万 円)

商工費

●路線バスの運行負担金(1,692万円)● JRバス廃止に伴う代替バス補助金(366 万円) 元気まつり補助金(180万円)

平成 22 年度 公営企業の資金不足比率

単位:%

		→ 1
特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
鞍手町病院事業会計	_	20.0
鞍手町水道事業会計	_	20.0
鞍手町介護老人保健施設事業会計	_	20.0
鞍手町流域関連公共下水道事業会計	_	20.0

※ (一)表示は黒字

・資金不足比率…企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率

健全化判断比率

平成19年6月に市町村の財政の 早期健全化や公営企業の経営の健全 化などを目的に「地方公共団体の財 政の健全化に関する法律」が制定さ れました。この法律では、すべての 都道府県や市町村が財政健全化判断 比率や資金不足比率を算定し監査委 員の審査に付した上で議会に報告 し、住民のみなさんに報告すること が義務付けられました。

民健康保険事業特別会計

▷収入…19 億 8,087 万円 ▶支出…20 億 3,877 万円

自営業の人や退職者などの医療費を給付する会計です。主な収入は、保険税と国庫 支出金。主な支出は、医療費や後期高齢者支援金などです。

●対象者 2.750 世帯 4.750 人 ● 1 人当たりの医療費 342.979 円



🏡 期高齢者医療特別会計 |

▷収入…2 億 289 万円

▶支出…2 億 226 万円 老人保健制度に代わり、平成20年度から

始まった後期高齢者医療制度を運営するため に設けられた会計です。

- ●対象者 2.432 人
- 1人当たりの医療給付費 1.030.272 円

土土 人保健特別会計

▷収入…682 万円

▶支出…682 万円 平成20年3月末までに、75歳以上

の高齢者などにかかった医療費をまか なうための会計です。



んがい施設維持管理運営費特別会計 ▷収入…8,180 万円 ▶支出…8,179 万円

西川沿い11か所に設置されているポンプの維持管理をするための会計です。収入は 基金からの繰入金と基金を運用して購入した国債などの利息です(平成 22 年度は、利 息等 2,541 万円を積み立てています)。支出は、運転手の賃金やポンプを稼動させるた めの維持管理費です。



▲ 宅新築資金等特別会計

▲ ▷収入…320 万円 ▶支出…317 万円

旧同和地区の住宅環境を改善するための会計です。主な収入は、貸付金の回収金、 一般会計からの繰入金、県支出金で、支出のほとんどは町債の返済です。



大 域関連公共下水道事業特別会計 ▷収入···7 億 780 万円 ▶支出···6 億 9,027 万円

生活環境の向上と河川の汚濁防止を目的に下水道を整備するための会計です。支出 の約62パーセントは、中山地区などの下水道管の整備に使われました。また、約7パー セントは、中間市に建設している終末処理場(中間市、水巻町、遠賀町との共同事業) の建設負担金や維持管理負担金です。





山池パイプライン水利施設維持管理運営費特別会計

▷収入…731 万円 ▶支出…730 万円

農業用水を確保するために室木の谷山池から倉坂地区まで約13キロにわたって設置 されているパイプラインを維持管理するための会計です。収入は、基金からの繰入金や 基金を運用して購入した国債などの利息です。



▶ 道事業会計

▷収入…3 億 160 万円 ▶支出…2 億 8,117 万円

水道事業の運営のために設けられた会計です。収入の大部分は、私たちが支払った 水道料金です。支出は、安全な飲み水を作るための費用です。

●給水戸数 6,725 世帯 ●給水人口 15,602 人



₩ 院事業会計

▷収入…27 億 7,495 万円 ▶支出…25 億 9,964 万円

町立病院の運営のために設けられた会計です。収入の大部分は、受診による個人負 担と診療報酬です。支出は、安全で安心な医療を提供するための費用で、人件費や材料費などが多くを占めています。

●年間延べ入院患者数 66.479 人 ●年間延べ外来患者数 66.345 人





護老人保健施設事業会計

▷収入…3 億 4.320 万円 ▶支出…3 億 2.573 万円

介護老人保健施設(鞍寿の里)の運営のために設けられた会計です。収入の大部分は、 施設で行ったサービスに対して支払われる介護報酬です。支出は、自立支援に必要な介護・ 機能訓練などを提供するための費用で、人件費や材料費などが多くを占めています。

●年間延べ入所者数 21,507 人 ●年間延べ通所利用者数 10,027 人



特別会計

(収入)

29 億

9,069万円

(支出)

30億

3.038 万円

立のつ般 0



くえる。会計が

たが

ああ

ŋ

(収入)

34 億

1.975 万円

(全出)

32億

654 万円